

(様式第 10)

鳥大医療第 16-1 号
平成 29 年

厚生労働大臣

殿

鳥取大学医学部附属病院
病院長 原田

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101
氏 名	国立大学法人 鳥取大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

鳥取大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地の1	電話(0859)33-1111
-----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科	②消化器内科
③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科
7内分泌内科	8代謝内科
⑨感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科
⑪リウマチ科	
診療実績	
内分泌内科及び代謝内科で提供される医療については、内分泌代謝内科にて提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無		
外科と組み合わせた診療科名			
1呼吸器外科	2消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	6心臓血管外科	7内分泌外科	8小児外科
診療実績			
呼吸器外科で提供される医療については、胸部外科にて提供しており、乳腺外科及び内分泌外科で提供される医療については、乳腺内分泌外科にて提供している。			

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科 2矯正歯科 ③口腔外科歯科口腔外科	
歯科の診療体制	
本院は歯科医師を有する特定機能病院である。	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1膠原病内科	2頭頸部外科	3ペインクリニック外科	4薬物療法内科	5形成外科	6腫瘍内科
7脳神経小児科	8病理診断科	9神経病理診断科	10リハビリテーション科	11	
12	13	14	15	16	17
18	19	20	21		

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40 床	2 床	6 床	0 床	649 床	697 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	336人	74人	388.3人	看 護 補 助 者	67人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	13人	3人	15.4人	理 学 療 法 士	15人	臨床検査技師	46人
薬 剤 師	47人	0人	47.0人	作 業 療 法 士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視 能 訓 練 士	5人	そ の 他	0人
助 産 師	48人	0人	48.0人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	697人	12人	704.7人	臨 床 工 学 士	17人	医療社会事業従事者	8人
准 看 護 師	0人	1人	0.5人	栄 養 士	1人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	3人	1人	4.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	234人
管理栄養士	8人	0人	8.0人	診療放射線技師	40人	その他の職員	49人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	36人	眼科専門医	12人
外科専門医	33人	耳鼻咽喉科専門医	9人
精神科専門医	6人	放射線科専門医	20人
小児科専門医	41人	脳神経外科専門医	8人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	14人
泌尿器科専門医	7人	麻酔科専門医	12人
産婦人科専門医	14人	救急科専門医	4人
		合 計	222人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 () 任命年月日 平成 年 月 日

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	564.9人	13.1人	578.0人
1日当たり平均外来患者数	1415.0人	83.3人	1498.3人
1日当たり平均調剤数	入院：892.8剤、外来：139.5剤		
必要医師数	142人		
必要歯科医師数	5人		
必要薬剤師数	20人		
必要（准）看護師数	341人		

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設の構造設備						
施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	877.9 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	26床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 321 m ² [移動式の場合] 台数 18台		病床数 26床			
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 28 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	453.2m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置、全自動化学発光酵素免疫測定装置			
細菌検査室	127.5m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動同定感受性検査装置、血液培養装置、微生物分類同定分析装置			
病理検査室	93.3m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動免疫染色装置、自動染色装置、バーチャル・スライド方式による遠隔病理画像診断システム 液状処理細胞診システム			
病理解剖室	88.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 病理解剖台			
研究室	1,417.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 中央実験台、フリーザー、ドラフトチャンバー等			
講義室	406.0m ²	鉄筋コンクリート	室数 2 室	収容定員 366 人		
図書室	1,777.0m ²	鉄筋コンクリート	室数 6 室	蔵書数 684,000冊程度		

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	92.0%	逆紹介率	85.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数		12,120人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,662人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		3,634人
	D: 初診の患者の数		17,121人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中岡 明久	独立行政法人 労働者健康安全機構 山陰労災病院 副院長・医療安全管理部長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者として適任であるため。	有・ 無	1
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護士		法律に関する識見を有する者として適任であるため。	有・ 無	1
前田 純子	NPO法人 響き合いネットワーク 岡山 SP 研究会 代表		医療を受ける者で、かつ医療従事者以外であり、医療安全管理についての知識を有する者として適任であるため。	有・ 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無
公表の方法 病院のホームページ等で公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	0人
前眼部三次元画像解析	22人
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	25人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	3人
腹腔鏡下広汎子宮全摘術	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた内視鏡下咽喉頭切除術	3人
オクトレオチド皮下注射療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当ありません。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	疾患名	患者数
7	56	球脊髄性筋萎縮症	ペーチェット病
28	57	筋萎縮性側索硬化症	特発性拡張型心筋症
1	58	脊髄性筋萎縮症	肥大型心筋症
3	59	原発性側索硬化症	拘束型心筋症
18	60	進行性核上性麻痺	再生不良性貧血
177	61	パーキンソン病	自己免疫性溶血性貧血
10	62	大脳皮質基底核変性症	発作性夜間ヘモグロビン尿症
3	63	ハンチントン病	特発性血小板減少性紫斑病
0	64	神経有棘赤血球症	血栓性血小板減少性紫斑病
2	65	シャルコー・マリー・トウース病	原発性免疫不全症候群
80	66	重症筋無力症	IgA 腎症
0	67	先天性筋無力症候群	多発性嚢胞腎
43	68	多発性硬化症／視神経脊髄炎	黄色靱帯骨化症
14	69	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	後縦靱帯骨化症
0	70	封入体筋炎	広範脊柱管狭窄症
0	71	クロー・深瀬症候群	特発性大腿骨頭壊死症
24	72	多系統萎縮症	下垂体性ADH分泌異常症
37	73	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	下垂体性TSH分泌亢進症
6	74	ライソゾーム病	下垂体性PRL分泌亢進症
2	75	副腎白質ジストロフィー	クッシング病
1	76	ミトコンドリア病	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症
22	77	もやもや病	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症
1	78	プリオン病	下垂体前葉機能低下症
0	79	亜急性硬化性全脳炎	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)
0	80	進行性多巣性白質脳症	甲状腺ホルモン不応症
3	81	HTLV-1関連脊髄症	先天性副腎皮質酵素欠損症
0	82	特発性基底核石灰化症	先天性副腎低形成症
8	83	全身性アミロイドーシス	アジソン病
0	84	ウルリッヒ病	サルコイドーシス
1	85	遠位型ミオパチー	特発性間質性肺炎
0	86	ベスレムミオパチー	肺動脈性肺高血圧症
0	87	自己食空胞性ミオパチー	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症
0	88	シュワルツ・ヤンペル症候群	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
29	89	神経線維腫症	リンパ管筋腫症
15	90	天疱瘡	網膜色素変性症
0	91	表皮水疱症	バッド・キアリ症候群
4	92	膿疱性乾癬(汎発型)	特発性門脈圧亢進症
1	93	スティーヴンス・ジョンソン症候群	原発性胆汁性肝硬変
0	94	中毒性表皮壊死症	原発性硬化性胆管炎
21	95	高安動脈炎	自己免疫性肝炎
1	96	巨細胞性動脈炎	クローン病
7	97	結節性多発動脈炎	潰瘍性大腸炎
20	98	顕微鏡的多発血管炎	好酸球性消化管疾患
11	99	多発血管炎性肉芽腫症	慢性特発性偽性腸閉塞症
9	100	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症
5	101	悪性関節リウマチ	腸管神経節細胞減少症
6	102	パージャール病	ルビンシュタイン・ティビ症候群
0	103	原発性抗リン脂質抗体症候群	CFC症候群
153	104	全身性エリテマトーデス	コステロ症候群
60	105	皮膚筋炎／多発性筋炎	チャージ症候群
84	106	全身性強皮症	クリオピリン関連周期熱症候群
26	107	混合性結合組織病	全身型若年性特発性関節炎
22	108	シェーグレン症候群	TNF受容体関連周期性症候群
9	109	成人スチル病	非典型性溶血性尿毒症症候群
1	110	再発性多発軟骨炎	ブラウ症候群

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	6
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	7
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ベリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	2	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	14	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	5
224	紫斑病性腎炎	2	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスporter-1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ボルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	5

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	319 セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308 進行性白質脳症	0	320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309 進行性ミオクローヌスてんかん	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
310 先天異常症候群	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	0
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	326 大理石骨病	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316 カルニチン回路異常症	0	328 前眼部形成異常	0
317 三頭酵素欠損症	0	329 無虹彩症	0
318 シトリン欠損症	0	330 先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療環境体制加算	・総合評価加算
・歯科診療特別対応連携加算	・呼吸ケアチーム加算
・特定機能病院入院基本料 (一般・結核7対1、精神13対1)	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・臨床研修病院入院診療加算 (医科:基幹型、歯科:単独型又は管理型)	・データ提出加算2
・救急医療管理加算	・退院支援加算1、3
・超急性期脳卒中加算	・認知症ケア加算2
・妊産婦緊急搬送入院加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算1	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算1(50対1)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・救命救急入院料3、4
・看護職員夜間配置加算(16対1)	・特定集中治療室管理料4
・看護補助加算2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・療養環境加算	・総合周産期特定集中治療室管理料1、2
・重症者等療養環境特別加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1、2	・小児入院医療管理料2
・緩和ケア診療加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・がん拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・高度難聴指導管理料	・検体検査管理加算Ⅰ、Ⅳ
・糖尿病合併症管理料	・国際標準検査管理加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・がん患者指導管理料1、2、3	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・外来緩和ケア管理料	・植込型心電図検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・胎児心エコー法
・糖尿病透析予防指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・院内トリアージ実施料	・ヘッドアップティルト試験
・外来リハビリテーション診療料	・人工臓器検査、人工臓器療法
・外来放射線照射診療料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・ニコチン依存症管理料	・光トポグラフィー
・ハイリスク妊産婦共同管理料2	・脳波検査判断料1
・がん治療連携計画策定料	・神経学的検査
・がん治療連携管理料	・補聴器適合検査
・認知症専門診断管理料	・ロービジョン検査判断料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・コンタクトレンズ検査料1
・排尿自立指導料	・小児食物アレルギー負荷検査
・薬剤管理指導料	・内服・点滴誘発試験
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・画像診断管理加算1、2
・医療機器安全管理料1、2、歯科	・ポジトロン断層撮影
・歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・在宅患者訪問看護・指導料	・CT撮影及びMRI撮影
・同一建物居住者訪問看護・指導料	・冠動脈CT撮影加算
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・外傷全身CT加算
・血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・大腸CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心臓MRI撮影加算

施設基準の種類	施設基準の種類
・乳房MRI撮影加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・網膜再建術
・外来化学療法加算1	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・無菌製剤処理	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・上顎骨形成術(骨移動を伴うものに限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴うものに限る(歯科診療に係るものに限る。))
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成術
・廃用症候群リハビリテーション料(I)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・運動器リハビリテーション料(I)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・がん患者リハビリテーション料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的冠動脈形成術
・精神科作業療法	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・認知療法・認知行動療法1	・経皮的冠動脈ステント留置術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・医療保護入院等診療料	・経皮的中隔心筋焼灼術
・硬膜外自家血注入	・ペースメーカー移植術及び交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・両心室ペースメーカー移植術及び交換術
・磁気による膀胱等刺激法	・植込型徐細動器移植術、植込型徐細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・一酸化窒素吸入療法(新生児の低酸素呼吸不全に対して実施するものに限る。)	・両室ペーシング機能付き植込型徐細動器移植術及び交換術
・CAD/CAM冠	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・歯科技工加算1及び2	・補助人工心臓
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・経皮的大動脈遮断術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・ダメージコントロール手術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び交換術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・脊髄刺激装置植込術及び交換術	・体外衝撃波胆石破碎術
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	・腹腔鏡下肝切除術
・羊膜移植術	・生体部分肝移植術

施設基準の種類	施設基準の種類
・体外衝撃波膵石破碎術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・口腔病理診断管理加算2
・生体腎移植術	・クラウンブリッジ維持管理料
・膀胱水圧拡張術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・顎口腔機能診断料
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・
・人工尿道括約筋植込・置換術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・輸血管理料Ⅰ、輸血適正使用加算	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料Ⅰ、Ⅱ	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術	・
・実物大臓器立体モデルによる手術支援	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年15～20回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 18例 / 剖検率 3.1%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アピキサバンとアミオダロン併用時の出血傾向増強の機序解明	太田 友樹	薬剤部	570,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
医薬品における同一識別コードのデータベース構築と持参薬の誤鑑別防止に向けた研究	小川 勝弘	薬剤部	560,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
スポーツ選手における筋硬度の低下と筋損傷、痛みの関連性の検討	小林 恵理	リハビリテーション部	570,000	日本学術振興会 科学研究費補助金
治療フィデリティと目標設定は認知矯正療法の効果に影響を与えるか	最上 多美子	臨床心理	900,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網羅的分子解析によるウイルス性角膜炎の病態解明	井上 幸次	眼科	1,000,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
拡張性心不全患者における呼吸筋リハビリテーションが運動耐容能に及ぼす影響	衣笠 良治	第一内科	500,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
包括的認知症検診プログラムの開発と有効性の検討	竹田 伸也	臨床心理	700,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
知的障害児入所施設における被虐待児の評価と効果的な支援方法の検討	井上 雅彦	臨床心理	1,100,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌が早期診断されない原因の解明	岡野 淳一	第二内科	1,600,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
世界標準の地域連携システムを用いた標準化の課題と対策の調査検討	近藤 博史	医療情報部	1,100,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非アルコール性脂肪肝炎進展に関与するmicroRNAの同定とバイオマーカーの開発	孝田 雅彦	第二内科	900,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床実用を目指した癌幹細胞標的的光線力学的療法の基礎研究	磯本 一	第二内科	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性胸膜中皮腫のベムレキセド耐性を克服する新しい治療法の開発	清水 英治	第三内科	600,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
成長障害の病態解明—新たなアプローチによるGH-IGFs系シグナル異常の解明	鞍嶋 有紀	小児科	400,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
微細構造を基盤とした蛋白尿発症機序の解明:低真空走査型電子顕微鏡を用いた解析	岡田 晋一	小児科	800,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
癌性胸腹水癌細胞パルス樹状細胞ワクチンのがん幹細胞に対する治療効果増強の研究	辻谷 俊一	がんセンター	1,100,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症合併不妊に対するNFκBを標的とする新規薬物療法の開発	谷口 文紀	女性診療科	900,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
可溶性ULPB2制御による新しい敗血症治療法の開発	千酌 浩樹	感染制御部	900,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ビスフォスフォネート(BP)の顎骨の感染メカニズムの解明	領家 和男	歯科口腔外科	500,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
BRONJにおける骨芽細胞の役割の解明	本城 正	歯科口腔外科	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳梗塞発症後に生じるフレイル促進因子の探索的研究	古和 久典	神経内科	900,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ドパミン存在下におけるαシヌクレインの酸化修飾と細胞内安定性、細胞間伝播	中曽 一裕	神経内科	900,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知矯正療法が統合失調症の報酬系に与える効果の脳機能画像研究	兼子 幸一	精神科	1,700,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
レビー小体型認知症の早期診断法の確立:病理学的小計および画像診断学的検討に基づく研究	小川 敏英	放射線治療科群	1,000,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
				小計 24件 21,800,000

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ゲノムDNAメチル化修飾を指標とする子宮内膜症の診断分子マーカーの探索	伊澤 正郎	女性診療科	1,400,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NFκB活性化分子を標的とした新たな子宮内膜症治療	原田 省	女性診療科	1,200,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大気環境観測衛星データに基づく大陸からの越境大気汚染による児童健康リスクの評価	渡部 仁成	第三内科	2,100,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝インスリン分解の影響を受けにくい新規インスリン抵抗性指標の開発	大倉 毅	第一内科	1,700,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗癌剤起因性末梢神経障害に対するグレリンを用いた新規治療法の開発	小谷 昌広	第三内科	2,000,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン症候群の病態におけるchromogranin Bに関する研究	瀧川 洋史	神経内科	1,400,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
内視鏡側面に指のような触覚をもたらす新規圧力センサーの開発	植木 賢	次世代高度医療推進センター	1,200,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心不全患者における教育効果とegoの関連の検討:効率的患者教育実施に向けて	山本 一博	第一内科	1,700,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
左室拡張不全の新たな治療法の開発 - キサンチンオキナーゼ阻害の可能性 -	荻野 和秀	検査部	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経疾患の早期介入を目指したRBDのスクリーニング確立	野村 哲志	神経内科	800,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
複数栄養因子の髄腔内反復パルス状投与による筋萎縮性側索硬化症モデル動物治療	渡辺 保裕	神経内科	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
インスリン様成長因子とその結合蛋白の異常に起因する成長ホルモン不応症の解明	神崎 晋	小児科	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非造影MRIを用いた新たな血管形成術後治療効果判定法の開発	柿手 卓	放射線治療科群	1,700,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化器癌における制御性B細胞の解析とその制御による新たな癌免疫治療の開発	齊藤 博昭	第一外科	1,200,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
核酸医薬とステントグラフトのハイブリッド治療による大動脈瘤進展抑制効果の検討	白谷 卓	心臓血管外科	1,700,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
椎間関節性腰痛における関節液の生化学的解析と関節軟骨の変性過程の解析	永島 英樹	整形外科	1,200,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
健康寿命延伸のための骨・筋減少防止に関する研究	萩野 浩	リハビリテーション部	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膜融合性リボソームを用いた新規受容体SNSRアゴニスト膀胱内注入療法確立	本田 正史	泌尿器科	1,300,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経損傷による外尿道括約筋の疲労が尿禁制に及ぼす影響の解明と治療基盤の確立	村岡 邦康	泌尿器科	900,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
セラミドによる頭頸部癌の発生抑制と治療への新展開	藤原 和典	頭頸部診療科	1,600,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
サイトメガロウイルス前眼部感染症マネージメントの標準化と戦略的病態解明	宮崎 大	眼科	1,200,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多血小板血漿と脂肪由来幹細胞を利用した新しい乳房再建法確立の試み	八木 俊路朗	形成外科	1,200,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
学校看護師の医療的ケアに関する研修プログラムの開発と評価に関する研究	玉崎 章子	小児在宅支援センター	600,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療用漢方薬を用いた前立腺がんIMRTによる有害事象軽減及び線量増加の研究	田原 誉敏	放射線治療科群	600,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレスシグナルは角膜内皮の老化と炎症を制御しえるのか	石倉 涼子	眼科	700,000	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計	25件
	32,600,000

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
時計遺伝子の不均衡と病態との関連性と介入の可能性についての検討	船木 一美	麻酔診療科群	900,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
加齢黄斑変性の新規病因遺伝子探索をもとにした戦略的治療開発	馬場 高志	眼科	1,400,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
オピオイドが腫瘍増殖および生命予後に与える影響の解析	大槻 明広	手術部	500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規内視鏡を用いた経尿道的膀胱手術新規技術の確立	森實 修一	泌尿器科	500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
グルコシルセラミドの腫瘍増殖抑制効果	矢間 敬章	頭頸部診療科群	200,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレスが脳内炎症を介してうつ病を誘発する機序の解明と新たな治療法の開発	岩田 正明	精神科	600,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
高悪性度神経膠腫のpseudo response早期検出のためのMRIによる検討	三好 史倫	放射線治療科群	500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
R2*マップによる急性期脳梗塞における閉塞血管の画像評価	篠原 祐樹	放射線治療科群	500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
高速エネルギースイッチングデュアルエネルギーCTを用いた遅延造影による心筋梗塞診断	北尾 慎一郎	放射線治療科群	500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
浸潤性肺腺癌の腫瘍内多様性とリンパ節転移機構の解明	春木 朋広	胸部外科診療科群	900,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
microRNAをtargetとした腎癌の診断マーカーと薬剤感受性に関する研究	岩本 秀人	泌尿器科	900,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
眼表面の細菌叢の静的状態および動的反応からさぐる新たな眼感染症の治療法	佐々木 慎一	眼科	1,100,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨吸収抑制薬剤が線維芽細胞増殖因子に与える影響と顎骨壊死の治療方法	中林 基	歯科口腔外科	500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔がんにおけるTERT抑制遺伝子の同定とその機能解析	西尾 幸与	歯科口腔外科	1,500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳性麻痺児の社会性の発達促進と養育者の育児負担軽減のための実証研究	高間 さとみ	歯科口腔外科	500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゴーシェ病に対するpH感受性新規シヤペロン化合物の開発	成田 綾	脳神経小児科	1,100,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒトES細胞由来心臓ペースメーカー細胞を用いた自動能生成メカニズムの解明	森川 久未	次世代医療推進センター	1,500,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
超音波診断装置を利用した閉塞性睡眠時無呼吸の上気道評価	松田 枝里子	頭頸部診療科	2,000,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
前頭側頭葉変性症の発症危険因子および進行促進因子の探索	足立 正	神経内科	1,600,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
非アルコール性脂肪肝炎進展に関与するERストレスの同定と新規治療法の開発	的野 智光	第二内科	1,100,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
顔面神経麻痺の治療効果予測におけるMRIの有用性の検討	久家 圭太	放射線治療科群	700,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
LPS投与時における転写因子Nrf2の臓器細胞および炎症細胞における役割	北川 良憲	麻酔診療科群	1,600,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭頸部癌リンパ節転移診断への超音波せん断波(shear wave)の応用	福原 隆宏	頭頸部診療科	1,600,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト生体における耳小骨振動の解析	國本 泰臣	頭頸部診療科	800,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
血清中自己抗体を用いる新しい甲状腺乳頭癌検出システムの開発	伊澤 正一郎	第一内科	1,600,000	補助 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計	25件
	24,600,000

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
医療・研究・福祉の連携による行動障害のある児・者への支援方法に関する研究	井上 雅彦	臨床心理	2,407,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
地震、津波、洪水、土砂災害、噴火災害等の各災害に対応したBCP及び病院避難計画策定に関する研究	本間 正人	救急科	2,310,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
新刃先形状をもつ高難度手術を可能にする新規国産医療用ドリルの開発	植木 賢	次世代高度医療推進センター	17,692,308	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
すべての人類に発症する老視を克服する調節眼内レンズの開発	鮑浦 淳介	次世代高度医療推進センター	700,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
注視点検出技術を活用した発達障がい診断システムの開発	前垣 義弘	脳神経小児科	3,500,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
筋萎縮性側索硬化症(ALS)新規治療法開発をめざした病態解明	加藤 信介	神経病理診断科	1,000,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
AAVベクターによる小児神経疾患・先天代謝異常症に対する遺伝子治療法開発	成田 綾	脳神経小児科	2,538,462	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠の集積等に関する研究	村上 潤	小児科	200,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
慢性炎症性疾患である子宮内膜症とその悪性化におけるDNAメチル化異常に関する検討	原田 省	女性診療科	1,230,770	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
メディカル・ゲノムセンター等におけるゲノム医療実施体制の構築と人材育成に関する研究	難波 栄二	遺伝子診療科	770,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
ドラッグリポジショニングによる神経線維腫症1型の進行阻止役の開発	吉田 雄一	皮膚科	500,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
がん細胞が生成する尿中蛋白質断片の検出を応用した肺腺癌早期診断システム樹立に関する研究	清水 英治	第三内科	769,231	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
超高感度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究	清水 英治	第三内科	769,231	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
成人における未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	難波 栄二	遺伝子診療科	6,153,847	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
咽喉頭癌に対する経口的ロボット支援手術の安全性・有効性に関する多施設臨床試験	藤原 和典	頭頸部診療科	5,200,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
進行性核上性麻痺及び類縁疾患を対象とした多施設共同コホート研究によるバイオマーカー開発と自然歴の解明	瀧川 洋史	神経内科	2,600,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
ゲノム医療の実装に向けた統合DBの最適化とゲノム医療従事者の育成(先進ゲノム医療実装施設の構築)	難波 栄二	遺伝子診療科	1,538,500	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
ドラッグ・リポジショニングによる難治性小児肝内胆汁鬱滞症の特効薬開発を指向したフェニル酪酸ナトリウムの有効性と安全性の検討を目的とした臨床研究	村上 潤	小児科	232,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
慢性ウイルス性肝炎の病態把握(重症度・治療介入時期・治療効果判定・予後予測)のための非侵襲的病態診断アルゴリズムの確立	孝田 雅彦	第二内科	10,000	補委 日本医療研究開発機構 受託研究費
黄砂、PM2.5の組成別毒性評価に基づく大気モニタリングと感受性者検査システムの構築	渡部仁成	第三内科	37,970,002	補委 環境省 受託研究費
血中・体液中の遊離核酸によるがんの分子診断法の基盤整備・試料の採取(特にセクレチン負荷)と臨床情報の収集	小谷昌広	第三内科	250,000	補委 国立がん研究センター 受託研究費
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	山本一博	第一内科	300,000	補委 国立国際医療研究センター 受託研究費
遅発型パネパ病患者ハイスクスクリーニング調査研究	玉崎章子	小児在宅支援センター	83,077	補委 国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
筋ジストロフィーの臨床試験におけるアウトカムメジャー研究	大野光洋	脳神経小児科	494,764	補委 国立精神・神経医療研究センター 受託研究費
本邦におけるHFpEFの実態に関する多施設共同調査研究 【分担研究科題名】心エコー・心電図に関する解析	山本一博	第一内科	500,000	補委 国立循環器病研究センター 受託研究費

小計	25件
	89,719,192

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん診療連携拠点病院機能強化事業	病院長 清水 英治		17,266,000	補 委 厚生労働省 感染症予防事業費等国庫負担(補助)金
鳥取県感染症医療体制整備支援事業	病院長 清水 英治		4,987,000	補 委 鳥取県 鳥取県感染症医療体制整備支援事業補助金
鳥取県院内がん登録支援事業費補助金	病院長 清水 英治		2,035,000	補 委 鳥取県
ドクターカー運営事業	病院長 清水 英治		2,757,000	補 委 鳥取県 鳥取県ドクターカー運営事業費補助金
鳥取県感染症指定医療機関運営費補助金	病院長 清水 英治		2,744,256	補 委 鳥取県
鳥取県原子力発電等緊急時安全対策費補助金	病院長 清水 英治		2,338,000	補 委 鳥取県
鳥取県医師・看護職員の仕事と育児の両立応援事業補助金	病院長 清水 英治		76,000	補 委 鳥取県
鳥取県手話学習会開催事業費等補助金	病院長 清水 英治		38,600	補 委 鳥取県
防災訓練等参加支援事業	病院長 清水 英治		45,000	補 委 鳥取県 鳥取県DMAT支援事業補助金
DMAT養成等研修に係る旅費補助事業	病院長 清水 英治		285,000	補 委 鳥取県 鳥取県DMAT支援事業補助金
鳥取県がん専門医資格取得支援事業	病院長 清水 英治		439,000	補 委 鳥取県 鳥取県がん専門医資格取得支援負担金
新人看護職員研修事業	病院長 清水 英治		1,648,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
医療情報ネットワーク整備事業	病院長 清水 英治		18,063,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
医療情報ネットワーク整備事業	病院長 清水 英治		106,488,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
産科医等確保支援事業	病院長 清水 英治		1,258,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
認定看護師養成研修受講補助事業	病院長 清水 英治		2,022,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
認定看護師養成研修受講補助事業	病院長 清水 英治		2,250,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
病院内保育所運営事業	病院長 清水 英治		6,847,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
地域医療連携研修会開催支援事業	病院長 清水 英治		4,580,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
実習指導者養成支援事業	病院長 清水 英治		25,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
救急勤務医支援事業	病院長 清水 英治		938,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
新生児医療担当医確保支援事業	病院長 清水 英治		300,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金
女性医師就業環境整備事業	病院長 清水 英治		554,000	補 委 鳥取県 鳥取県地域医療介護総合確保基金事業補助金

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計	23件
	177,983,856
合計	122件
	346,703,048

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Oyama, K; Kanki, K; Shimizu, H et al	がんセンター	Impact of Preferentially Expressed Antigen of Melanoma on the Prognosis of Hepatocellular Carcinoma.	Gastrointestinal tumors,3(3-4),pp.128-135,2017	Original Article
2	Hashimoto, Y; Hatayama, Y; Kojima, N et al	検査部	Development of Reverse Transcription Loop-Mediated Isothermal Amplification for Simple and Rapid Detection of Promyelocytic Leukemia-Retinoic Acid Receptor α mRNA.	Yonago acta medica,59(4),pp.262-269,2016	Original Article
3	Hatayama, Y; Hashimoto, Y; Hara, A et al	検査部	Construction and Evaluation of Cytomegalovirus DNA Quantification System with Real-Time Detection Polymerase Chain Reaction.	Yonago acta medica,59(3),pp.217-222,2016	Original Article
4	Oguri, M; Saito, Y; Okazaki, T et al	検査部	Surface electromyogram and muscle ultrasonography for detection of muscle fasciculations in pediatric peripheral neuropathy.	Brain & development,(),pp.,2017	Original Article
5	Matsumoto, K; Takeda, Y; Onoyama, T et al	消化器外科	Role of the preoperative usefulness of the pathological diagnosis of pancreatic diseases.	World journal of gastrointestinal oncology,8(9),pp.656-62,2016	Review
6	Fujise, Y; Okano, J; Nagahara, T et al	第二内科	[Corrigendum] Preventive effect of caffeine and curcumin on hepato-carcinogenesis in diethylnitrosamine-induced rats.	International journal of oncology,49(3),pp.1259,2016	Others
7	Okamoto, K; Koda, M; Okamoto, T et al	第二内科	A Series of microRNA in the Chromosome 14q32.2 Maternally Imprinted Region Related to Progression of Non-Alcoholic Fatty Liver Disease in a Mouse Model.	PloS one,11(5),pp.e0154676,2016	Original Article
8	Matsumoto, H; Hagino, H; Hayashi, K et al	リハビリテーション部	The effect of balneotherapy on pain relief, stiffness, and physical function in patients with osteoarthritis of the knee: a meta-analysis.	Clinical rheumatology,(),pp.,2017	Original Article
9	Matsumoto, H; Hagino, H; Osaki, M et al	リハビリテーション部	Gait variability analysed using an accelerometer is associated with locomotive syndrome among the general elderly population: The GAINA study.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association,21(3),pp.3	Others
10	Otsuki, R; Matsumoto, H; Ueki, M et al	リハビリテーション部	Automated stride assistance device improved the gait parameters and energy cost during walking of healthy middle-aged females but not those of young controls.	Journal of physical therapy science,28(12),pp.3361-3366,2016	Original Article
11	Kimura, T; Murata, S; Onozawa, S et al	画像診断治療学	Combination Therapy of Interventional Radiology and Surgery for Infarction of the Small Intestine Caused by Portal Vein and Mesenteric Vein Thrombosis: A Patient Report.	Yonago acta medica,59(3),pp.237-240,2016	Original Article

小計11件

12	Kodani, M; Yata, S; Ohuchi, Y et al	画像診断治療学	Safety and Risk of Superselective Transcatheter Arterial Embolization for Acute Lower Gastrointestinal Hemorrhage with N-Butyl Cyanoacrylate: Angiographic and	Journal of vascular and interventional radiology : JVIR,27(6),pp.824-30,2016	Others
13	Kuya, K; Shinohara, Y; Kato, A et al	画像診断治療学	Reduction of metal artifacts due to dental hardware in computed tomography angiography: assessment of the utility of model-based iterative reconstruction.	Neuroradiology,59(3), pp.231-235,2017	Original Article
14	Kuya, K; Fujii, S; Miyoshi, F et al	画像診断治療学	A case of acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion: Utility of arterial spin labeling sequence.	Brain & development,39(1),pp. 84-88,2017	Case report
15	Kuya, K; Shinohara, Y; Miyoshi, F et al	画像診断治療学	Correlation between neuromelanin-sensitive MR imaging and (123)I-FP-CIT SPECT in patients with parkinsonism.	Neuroradiology,58(4), pp.351-6,2016	Original Article
16	Miyoshi, F; Kanasaki, Y; Shinohara, Y et al	画像診断治療学	Significance of combined use of MRI and perfusion SPECT for evaluation of multiple system atrophy, cerebellar type.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987),57(6),pp.742-9,2016	Original Article
17	Mukuda, N; Fujii, S; Ogawa, T	画像診断治療学	Reply to the letter to the editor: Importance of different region-of-interest protocols for the apparent diffusion coefficient measurement of tumors in diffusion-weighted magnetic	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI,44(5),pp.1370,2016	Letter
18	Ohta, Y; Kitao, S; Watanabe, T et al	画像診断治療学	Measurement of Myocardial Extracellular Volume Fraction From Iodine Density Images Using Single-Source, Dual-Energy Computed Tomography: A Feasibility Study.	Journal of computer assisted tomography,(),pp.,2017	Original Article
19	Ohta, Y; Miyoshi, F; Kaminou, T et al	画像診断治療学	The evaluation of cardiac tamponade risk in patients with pericardial effusion detected by non-gated chest CT.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987),57(5),pp.538-46,2016	Original Article
20	Shinohara, Y; Kato, A; Yamashita, E et al	画像診断治療学	R2* Map by IDEAL IQ for Acute Cerebral Infarction: Compared with Susceptibility Vessel Sign on T2*-Weighted Imaging.	Yonago acta medica,59(3),pp.204-209,2016	Original Article
21	Harada, S; Nakamura, Y; Shiraya, S et al	器官再生外科学	Smooth muscle cell sheet transplantation preserve cardiac function and minimize cardiac remodeling in a rat myocardial infarction model.	Journal of cardiothoracic surgery,11(1),pp.131,2016	Others
22	Yurugi, Y; Wakahara, M; Matsuoka, Y et al	器官病理学	Podoplanin Expression in Cancer-associated Fibroblasts Predicts Poor Prognosis in Patients with Squamous Cell Carcinoma of the Lung.	Anticancer research,37(1),pp.207-213,2017	Original Article
23	Isomoto, H; Kurumi, H	機能病態内科学	Management of non-curative endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: do we have enough data to support this?	Translational gastroenterology and hepatology,2(),pp.35,2017	Others
24	Isomoto, H	機能病態内科学	Optical coherence tomography in Barrett's esophagus and the road to virtual optical pathology.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy	Others

小計13件

25	Okamoto, T; Koda, M; Miyoshi, K et al	機能病態内科学	Antifibrotic effects of ambrisentan, an endothelin-A receptor antagonist, in a non-alcoholic steatohepatitis mouse model.	World journal of hepatology,8(22),pp.933-41,2016	Original Article
26	Onoyama, T; Koda, M; Fujise, Y et al	機能病態内科学	Utility of virtual touch quantification in the diagnosis of pancreatic ductal adenocarcinoma.	Clinical imaging,42(),pp.64-67,	Original Article
27	Sugihara, T; Koda, M; Okamoto, T et al	機能病態内科学	Serum Procalcitonin in Patients with Acute Liver Failure.	Yonago acta medica,60(1),pp.40-46,2017	Original Article
28	Sugihara, T; Koda, M; Okamoto, T et al	機能病態内科学	Falsely Elevated Serum Vitamin B12 Levels Were Associated with the Severity and Prognosis of Chronic Viral Liver Disease.	Yonago acta medica,60(1),pp.31-39,2017	Original Article
29	Takata, T; Chikumi, H; Morishita, S et al	機能病態内科学	Shewanella algae Bacteremia in an End-stage Renal Disease Patient: A Case Report and Review of the Literature.	Internal medicine (Tokyo, Japan),56(6),pp.729-732,2017	Case report
30	Takata, T; Koda, M; Sugihara, T et al	機能病態内科学	Renal shear wave velocity by acoustic radiation force impulse did not reflect advanced renal impairment.	Nephrology (Carlton, Vic.),21(12),pp.1056-1062,2016	Original Article
31	Haruki, T; Miwa, K; Araki, K et al	胸部外科学	Distribution and Prevalence of Locoregional Recurrence after Video-Assisted Thoracoscopic Surgery for Primary Lung Cancer.	The Thoracic and cardiovascular surgeon,64(6),pp.526-32,2016	Original Article
32	Haruki, T; Wakahara, M; Taniguchi, Y et al	胸部外科学	Successful multimodality treatment for locally advanced primary thymic adenocarcinoma: report of a case.	Journal of surgical case reports,2016(8),pp.,2016	Original Article
33	Matsuoka, Y; Yurugi, Y; Takagi, Y et al	胸部外科学	Prognostic Significance of Solid and Micropapillary Components in Invasive Lung Adenocarcinomas Measuring ≤ 3 cm.	Anticancer research,36(9),pp.4923-30,2016	Original Article
34	Matsuoka, Y; Takagi, Y; Nosaka, K et al	胸部外科学	Cytoplasmic expression of maspin predicts unfavourable prognosis in patients with squamous cell carcinoma of the lung.	Histopathology,69(1),pp.114-20,2016	Original Article
35	Yagi, S; Suyama, Y; Fukuoka, K et al	形成外科	Recipient Vessel Selection in Head and Neck Reconstruction Based on the Type of Neck Dissection.	Yonago acta medica,59(2),pp.159-62,2016	Original Article
36	Miyazaki, D; Fukushima, A; Ohashi, Y et al	視覚病態学	Steroid-Sparing Effect of 0.1% Tacrolimus Eye Drop for Treatment of Shield Ulcer and Corneal Epitheliopathy in Refractory Allergic Ocular Diseases.	Ophthalmology,124(3),pp.287-294,2017	Original Article
37	Fujiwara, K; Kawamoto, K; Shimizu, Y et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	A novel reflex cough testing device.	BMC pulmonary medicine,17(1),pp.19,2017	Original Article

小計13件

38	Fukuhara, T; Donishi, R; Koyama, S et al	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Significant Amelioration of Tracheal Stenosis following Lenvatinib in a Patient Who Has Anaplastic Thyroid Carcinoma with Bronchomediastinal Infiltration: A Case Report.	Case reports in oncology,10(1),pp.175-181,	Original Article
39	Fukuhara, T; Miyoshi, M; Fujii, T et al	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Post-laryngectomy voice rehabilitation with a voice prosthesis in a young girl with advanced thyroid cancer.	Auris, nasus, larynx,43(5),pp.579-83,2016	Case report
40	Fukuhara, T; Morisaki, T; Kataoka, H et al	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Modifications to the Fenestration Approach for Arytenoid Adduction Under Local Anesthesia.	Journal of voice : official journal of the Voice Foundation,0,pp.,2016	Original Article
41	Kataoka, H; Arie, S; Fukuhara, T et al	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Analysis of Direct Simultaneous Measurement of Glottal Airflow Velocity, Subglottal Pressure, and High-Speed Imaging Using Flexible Transnasal Endoscope in a Human	Yonago acta medica,59(3),pp.241-247,2016	Original Article
42	Koyama, S; Fujiwara, K; Morisaki, T et al	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Submucosal Abscess of the Esophagus Caused by Piriform Sinus Fistula Treated with Transoral Video Laryngoscopic Surgery.	ORL; journal for oto-rhino-laryngology and its related specialties,78(5),pp.252-258,2016	Original Article
43	Takenobu, M; Osaki, M; Fujiwara, K et al	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	PITX1 is a novel predictor of the response to chemotherapy in head and neck squamous cell carcinoma.	Molecular and clinical oncology,5(1),pp.89-94,2016	Original Article
44	Kawashima Sonoyama, Y; Tajima, T; Fujimoto, M et al	周産期・小児 医学	A novel frameshift mutation in NR3C2 leads to decreased expression of mineralocorticoid receptor: a family with renal pseudohypoaldosteronism type 1.	Endocrine journal,64(1),pp.83-90,2017	Case report
45	Kuranobu, H; Murakami, J; Kuranobu, N et al	周産期・小児 医学	Mitochondrial respiratory chain complex I deficiency causes intractable gastrointestinal symptoms.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society,58(12),pp.133	Case report
46	Hikita, K; Honda, M; Kawamoto, B et al	腎泌尿器学	Evaluation of Incontinence after Robot-Assisted Laparoscopic Radical Prostatectomy: Using the International Consultation on Incontinence Modular Questionnaire Short Form and Noting	Yonago acta medica,60(1),pp.52-55,2017	Original Article
47	Honda, M; Kawamoto, B; Morizane, S et al	腎泌尿器学	Impact of postoperative phosphodiesterase type 5 inhibitor treatment on lower urinary tract symptoms after robot-assisted radical prostatectomy: a longitudinal study.	Scandinavian journal of urology,51(1),pp.33-37,2017	Others
48	Honda, M; Kawamoto, B; Morizane, S et al	腎泌尿器学	A prognostic model for predicting urinary incontinence after robot-assisted radical prostatectomy.	The international journal of medical robotics + computer assisted surgery : MRCAS,0,pp.,2016	Original Article
49	Honda, M; Yoshimura, N; Kawamoto, B et al	腎泌尿器学	Anandamide transporter-mediated regulation of the micturition reflex in urethane-anesthetized rats.	International urology and nephrology,48(9),pp.1407-12,2016	Original Article
50	Iwamoto, H; Yumioka, T; Yamaguchi, N et al	腎泌尿器学	Robot-assisted radical cystectomy is a promising alternative to open surgery in the Japanese population with a high rate of octogenarians.	International journal of clinical oncology,21(4),pp.756-63,2016	Others

小計13件

51	Kawamoto, B; Honda, M; Iwamoto, H et al	腎泌尿器学	Urothelial Carcinoma Recurrence at an Ileal Orthotopic Neobladder and Unilateral Lower Ureter After Surgery.	Urology case reports,9(),pp.27-9,2016	Original Article
52	Morizane, S; Sejima, T; Iwamoto, H et al	腎泌尿器学	Transurethral En Bloc Resection of Bladder Tumor Using an Endoscopic Submucosal Dissection Technique: Preliminary Results in an Animal Model.	Yonago acta medica,59(2),pp.143-8,2016	Original Article
53	Sejima, T; Morizane, S; Fujiwara, K et al	腎泌尿器学	The First Pilot Comprehensive Evaluation of the Outcomes of Different Types of Robotic Surgeries in the Different Surgical Departments: The Penta, Tetra and Trifecta	Yonago acta medica,59(2),pp.135-42,2016	Original Article
54	Sejima, T; Yumioka, T; Yamaguchi, N et al	腎泌尿器学	Characterization of mild and severe post-radical nephrectomy renal functional deterioration utilizing histopathological evaluation of non-neoplastic nephrectomized renal	International journal of clinical oncology,21(3),pp.588-94,2016	Original Article
55	Tsounapi, P; Honda, M; Dimitriadis, F et al	腎泌尿器学	Antioxidant treatment ameliorates diabetes-induced dysfunction of the vas deferens in a rat model.	Andrologia,(),pp.,2017	Original Article
56	Tsounapi, P; Honda, M; Dimitriadis, F et al	腎泌尿器学	Impact of antioxidants on seminal vesicles function and fertilizing potential in diabetic rats.	Asian journal of andrology,(),pp.,2016	Original Article
57	Yamaguchi, N; Yumioka, T; Iwamoto, H et al	腎泌尿器学	Biochemical Recurrence Prediction in High-Risk Prostate Cancer Patients, Following Robot-Assisted Radical Prostatectomy.	Yonago acta medica,59(4),pp.288-295,2016	Original Article
58	Murakami, T; Enokida, M; Kawaguchi, K et al	整形外科	Useful ultrasonographic evaluation of the medial meniscus as a feature predicting the onset of radiographic knee osteoarthritis.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association,22(2),pp.3	Original Article
59	Tanida, A; Kamimura, A; Tanishima, S et al	整形外科	Spinal cord infarction at the level of ossification of the posterior longitudinal ligament.	Spinal cord series and cases,2(),pp.16032,2016	Original Article
60	Harada, T; Khine, YM; Kaponis, A et al	生殖機能医学	The Impact of Adenomyosis on Women's Fertility.	Obstetrical & gynecological survey,71(9),pp.557-68,2016	Review
61	Harada, T; Momoeda, M	生殖機能医学	Evaluation of an ultra-low-dose oral contraceptive for dysmenorrhea: a placebo-controlled, double-blind, randomized trial.	Fertility and sterility,106(7),pp.1807-1814,2016	Others
62	Harada, T; Taniguchi, F; Onishi, K et al	生殖機能医学	Obstetrical Complications in Women with Endometriosis: A Cohort Study in Japan.	PloS one,11(12),pp.e0168476,2016	Original Article
63	Izawa, M; Taniguchi, F; Harada, T	生殖機能医学	Molecular Background of Estrogen Receptor Gene Expression in Endometriotic Cells.	Reproductive sciences (Thousand Oaks, Calif.),23(7),pp.871-6,2016	Original Article

小計13件

64	Kudoh, A; Sato, S; Itamochi, H et al	生殖機能医学	Human papillomavirus type-specific persistence and reappearance after successful conization in patients with cervical intraepithelial neoplasia.	International journal of clinical oncology,21(3),pp.580-7,2016	Original Article
65	Shimada, M; Sato, S; Oishi, T et al	生殖機能医学	Feasibility study on combination chemotherapy using nogitecan hydrochloride (topotecan) and cisplatin for patients with metastatic, persistent, or recurrent uterine cervical cancer.	International journal of clinical oncology,21(5),pp.969-974,2016	Original Article
66	Shimada, M; Nagao, S; Fujiwara, K et al	生殖機能医学	Neoadjuvant chemotherapy with docetaxel and carboplatin followed by radical hysterectomy for stage IB2, IIA2, and IIB patients with non-squamous cell carcinoma of the uterine	International journal of clinical oncology,21(6),pp.1128-1135,2016	Others
67	Taniguchi, F; Sakamoto, Y; Yabuta, Y et al	生殖機能医学	Analysis of pregnancy outcome and decline of anti-Müllerian hormone after laparoscopic cystectomy for ovarian endometriomas.	The journal of obstetrics and gynaecology research,42(11),pp.1534-1540,2016	Original Article
68	Taniguchi, F; Hirakawa, E; Azuma, Y et al	生殖機能医学	Primary Umbilical Endometriosis: Unusual and Rare Clinical Presentation.	Case reports in obstetrics and gynecology,2016(),pp.9302376,2016	Original Article
69	Iwata, M; Ishida, H; Kaneko, K et al	精神行動医学	Learned helplessness activates hippocampal microglia in rats: A potential target for the antidepressant imipramine.	Pharmacology, biochemistry, and behavior,150-151(),pp.138-146,	Original Article
70	Pu, S; Nakagome, K; Itakura, M et al	精神行動医学	Association of fronto-temporal function with cognitive ability in schizophrenia.	Scientific reports,7(),pp.42858,2017	Original Article
71	Pu, S; Nakagome, K; Miura, A et al	精神行動医学	Associations between depressive symptoms and fronto-temporal activities during a verbal fluency task in patients with schizophrenia.	Scientific reports,6(),pp.30685,2016	Original Article
72	Pu, S; Nakagome, K; Itakura, M et al	精神行動医学	The association between cognitive deficits and prefrontal hemodynamic responses during performance of working memory task in patients with schizophrenia.	Schizophrenia research,172(1-3),pp.114-22,2016	Original Article
73	Hirayama, Y; Saito, Y; Maegaki, Y; ,	脳神経小児科学	"Symptomatic" infection-associated acute encephalopathy in children with underlying neurological disorders.	Brain & development,39(3),pp.243-247,2017	Original Article
74	Itakura, A; Saito, Y; Nishimura, Y et al	脳神経小児科学	Successful treatment of migrating partial seizures in Wolf-Hirschhorn syndrome with bromide.	Brain & development,38(7),pp.658-62,2016	Case report
75	Kurata, H; Terashima, H; Nakashima, M et al	脳神経小児科学	Characterization of SPATA5-related encephalopathy in early childhood.	Clinical genetics,90(5),pp.437-444,2016	Original Article
76	Ohno, K; Saito, Y; Ueda, R et al	脳神経小児科学	Effect of Serotonin 1A Agonists and Selective Serotonin Reuptake Inhibitors on Behavioral and Nighttime Respiratory Symptoms in Rett Syndrome.	Pediatric neurology,60(),pp.54-59.e1,2016	Original Article

小計13件

77	Ohno, K; Saito, Y; Kurata, H et al	脳神経小児科学	Vessel wall enhancement in the diagnosis and management of primary angiitis of the central nervous system in children.	Brain & development,38(7),pp.694-8,2016	Case report
78	Okazaki, T; Saito, Y; Ueda, R et al	脳神経小児科学	Epileptic phenotype of FGFR3-related bilateral medial temporal lobe dysgenesis.	Brain & development,39(1),pp.67-71,2017	Case report
79	Okazaki, T; Murata, M; Kai, M et al	脳神経小児科学	Clinical Diagnosis of Mendelian Disorders Using a Comprehensive Gene-Targeted Panel Test for Next-Generation Sequencing.	Yonago acta medica,59(2),pp.118-25,2016	Original Article
80	Adachi, T; Yasui, K; Takahashi, T et al	脳神経内科学	Anti-myelin Oligodendrocyte Glycoprotein Antibodies in a Patient with Recurrent Optic Neuritis Involving the Cerebral White Matter and Brainstem.	Internal medicine (Tokyo, Japan),55(10),pp.1351-4,2016	Case report
81	Fukuma, K; Kowa, H; Nakayasu, H et al	脳神経内科学	Atypical Arteritis in Internal Carotid Arteries: A Novel Concept of Isolated Internal Carotid Arteritis.	Yonago acta medica,59(3),pp.248-254,2016	Original Article
82	Kawase, S; Kowa, H; Suto, Y et al	脳神経内科学	Association between body mass index and outcome in Japanese ischemic stroke patients.	Geriatrics & gerontology international,17(3),pp.369-374,2017	Original Article
83	Nakashita, S; Wada-Isoe, K; Uemura, Y et al	脳神経内科学	Clinical assessment and prevalence of parkinsonism in Japanese elderly people.	Acta neurologica Scandinavica,133(5),p p.373-9,2016	Original Article
84	Takigawa, H; Kowa, H; Nakashima, K	脳神経内科学	No associations between five polymorphisms in COMT gene and migraine.	Acta neurologica Scandinavica,135(2),p p.225-230,2017	Original Article
85	Takigawa, H; Kitayama, M; Wada-Isoe, K et al	脳神経内科学	Prevalence of progressive supranuclear palsy in Yonago: change throughout a decade.	Brain and behavior,6(12),pp.e00557,2016	Original Article
86	Watanabe, Y; Beeldman, E; Raaphorst, J et al	脳神経内科学	Japanese version of the ALS-FTD-Questionnaire (ALS-FTD-Q-J).	Journal of the neurological sciences,367(),pp.51-5,2016	Others
87	Kato, S; Kato, M; Kusano, T; Nishino, T	脳病態医科学	New Strategy That Delays Progression of Amyotrophic Lateral Sclerosis in G1H-G93A Transgenic Mice: Oral Administration of Xanthine Oxidoreductase Inhibitors That Are	Journal of neuropathology and experimental neurology,75(12),pp.1124-1144,2016	Original Article
88	Adachi, K; Yoshida, Y; Ito, A et al	皮膚病態学	In-Transit Melanoma Metastasis Mimicking Nodular Fasciitis.	The Australasian journal of dermatology,57(4),pp.e140-e141,2016	Letter
89	Ehara, Y; Yoshida, Y; Shiomi, T et al	皮膚病態学	Superficial leiomyosarcoma histopathologically mimicking dermatofibroma: Pitfall in the diagnosis.	The Journal of dermatology,44(3),pp.348-349,2017	Letter

小計13件

90	Ehara, Y; Yoshida, Y; Kawaguchi, K et al	皮膚病態学	Cytomegalovirus colitis in a patient with pemphigus vulgaris.	European journal of dermatology : EJD,26(2),pp.189-90,2016	Case report
91	Higaki-Mori, H; Sugita, K; Tsutsumi, R et al	皮膚病態学	Apocrine Adenocarcinoma Occurring on the Chin.	Yonago acta medica,60(1),pp.64-66,2017	Original Article
92	Higaki-Mori, H; Ito, A; Sugita, K et al	皮膚病態学	Metastatic amelanotic melanomas showing spontaneous regression after skin biopsies.	The Journal of dermatology,44(3),pp.e19-e20,2017	Letter
93	Ikeda, A; Sugita, K; Ito, A et al	皮膚病態学	Geographic tongue associated with sialadenitis.	The Journal of dermatology,(),pp.,2016	Letter
94	Ito, A; Sugita, K; Adachi, K et al	皮膚病態学	CD8+ T-cell-mediated Interface Dermatitis after CCR4+ T-cell Depletion by Mogamulizumab Treatment of Adult T-cell Leukaemia/lymphoma.	Acta dermato-venereologica,97(3),pp.377-378,2017	Case report
95	Ito, A; Sugita, K; Suzuki, S et al	皮膚病態学	"Longitudinal hyperkeratotic structure" related to subungual glomus tumor.	The Journal of dermatology,(),pp.,2016	Letter
96	Kimura, R; Yoshida, Y; Shiomi, T et al	皮膚病態学	Multiorgan involvement of extramammary Paget's disease with mucinous carcinoma-like components.	European journal of dermatology : EJD,26(6),pp.615-617,2016	Case report
97	Moriya, S; Hirose, J; Yoshida, Y et al	皮膚病態学	Malignant Peripheral Nerve Sheath Tumour Arising From Solitary Sclerotic Neurofibroma.	Acta dermato-venereologica,96(5),pp.706-7,2016	Case report
98	Suzuki, S; Yoshida, Y; Shiomi, T et al	皮膚病態学	Melanoma of the Umbilicus: A Patient Report, Precaution in Operative Strategy, and the First Histopathological Review of Published Cases.	Yonago acta medica,59(2),pp.183-7,2016	Original Article
99	Tsutsumi, R; Yoshida, Y; Yamamoto, O	皮膚病態学	Imiquimod-induced Psoriatic Erythroderma Treated with Infliximab.	Acta dermato-venereologica,97(2),pp.279-280,2017	Case report
100	Tsutsumi, R; Yoshida, Y; Yamamoto, O	皮膚病態学	Fixed alcohol eruption.	Contact dermatitis,75(2),pp.126-8,2016	Case report
101	Yamamoto, O	皮膚病態学	Preface to Journal of Dermatology special issue: Dermatopathology.	The Journal of dermatology,44(3),pp.231,2017	Others
102	Kabayashi, F; Saiki, M; Nakamura, Y et al	病態情報内科学	Aortogastric Fistula Caused by a Foreign Body in a Hiatal Hernia.	The Annals of thoracic surgery,101(5),pp.1976-8,2016	Case report

小計13件

103	Kinugasa, Y; Yamamoto, K	病態情報内科学	The challenge of frailty and sarcopenia in heart failure with preserved ejection fraction.	Heart (British Cardiac Society),103(3),pp.184-189,2017	Review
104	Kondo, T; Miake, J; Kato, M et al	病態情報内科学	Impact of postprocedural antiarrhythmic drug therapy with bepridil on maintaining sinus rhythm after catheter ablation for persistent atrial fibrillation.	Journal of cardiology,68(3),pp.229-35,2016	Original Article
105	Kondo, T; Hisatome, I; Yoshimura, S et al	病態情報内科学	Characterization of the novel mutant A78T-HERG from a long QT syndrome type 2 patient: Instability of the mutant protein and stabilization by heat shock factor 1.	Journal of arrhythmia,32(5),pp.433-440,2016	Original Article
106	Sugihara, S; Yamamoto, K; Hisatome, I	病態情報内科学	Can Xanthine Oxidase Inhibitors Improve Cardiac Function in Patients With Chronic Heart Failure?	International heart journal,57(6),pp.661-662,2016	Original Article
107	Watanabe, T; Furuse, Y; Ohta, Y et al	病態情報内科学	The Effectiveness of Non-ECG-Gated Contrast-Enhanced Computed Tomography for the Diagnosis of Non-ST Segment Elevation Acute Coronary Syndrome.	International heart journal,57(5),pp.558-64,2016	Others
108	Amisaki, M; Honjo, S; Morimoto, M et al	病態制御外科学	The Negative Effect of Preoperative Transcatheter Arterial Chemoembolization on Long-Term Outcomes for Resectable Hepatocellular Carcinoma: A	Yonago acta medica,59(4),pp.270-278,2016	Original Article
109	Hanaki, T; Horikoshi, Y; Nakaso, K et al	病態制御外科学	Nicotine enhances the malignant potential of human pancreatic cancer cells via activation of atypical protein kinase C.	Biochimica et biophysica acta,1860(11 Pt A),pp.2404-15,2016	Original Article
110	Ikeguchi, M; Fukumoto, Y; ,	病態制御外科学	Prognostic Benefits of Thoracoscopic Esophagectomy for Thoracic Esophageal Squamous Cell Carcinomas.	Chirurgia (Bucharest, Romania : 1990),111(4),pp.313-7,	Others
111	Matsunaga, T; Saito, H; Murakami, Y et al	病態制御外科学	Usefulness of T-Shaped Gauze for Precise Dissection of Supra-Pancreatic Lymph Nodes and for Reduced Postoperative Pancreatic Fistula in Patients Undergoing Laparoscopic	Yonago acta medica,59(3),pp.232-236,2016	Original Article
112	Miyatani, K; Saito, H; Murakami, Y et al	病態制御外科学	A high number of IgG4-positive cells in gastric cancer tissue is associated with tumor progression and poor prognosis.	Virchows Archiv : an international journal of pathology,468(5),pp.549-57,2016	Original Article
113	Murakami, Y; Saito, H; Shimizu, S et al	病態制御外科学	A Case of Unruptured Right Gastroepiploic Artery Aneurysm Successfully Resected by Laparoscopic Surgery.	Yonago acta medica,60(1),pp.56-58,2017	Original Article
114	Saito, H; Murakami, Y; Miyatani, K et al	病態制御外科学	Predictive factors for recurrence in T2N0 and T3N0 gastric cancer patients.	Langenbeck's archives of surgery,401(6),pp.823-8,2016	Original Article
115	Shimizu, S; Saito, H; Kono, Y et al	病態制御外科学	Gastric Schwannoma with Enlargement of the Regional Lymph Nodes Resected Using Laparoscopic Distal Gastrectomy: Report of a Patient.	Yonago acta medica,60(1),pp.59-63,2017	Original Article

小計13件

116	Takano, S; Saito, H; Ikeguchi, M	病態制御外科学	An increased number of PD-1+ and Tim-3+ CD8+ T cells is involved in immune evasion in gastric cancer.	Surgery today,46(11),pp.1341-7,2016	Original Article
117	Watanabe, J; Otani, S; Sakamoto, T et al	病態制御外科学	Prognostic indicators based on inflammatory and nutritional factors after pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer.	Surgery today,46(11),pp.1258-67,2016	Original Article
118	Fukushima, T; Yamasaki, A; Harada, T et al	分子制御内科学	γ -Tocotrienol Inhibits TGF- β 1-Induced Contractile Phenotype Expression of Human Airway Smooth Muscle Cells.	Yonago acta medica,60(1),pp.16-23,2017	Original Article
119	Izumi, H; Kurai, J; Kodani, M; Watanabe, M et al	分子制御内科学	A novel SLC34A2 mutation in a patient with pulmonary alveolar microlithiasis.	Human genome variation,4(),pp.16047,2017	Original Article
120	Kurai, J; Watanabe, M; Sano, H et al	分子制御内科学	Effects of Asian Dust Particles on the Early-Stage Antigen-Induced Immune Response of Asthma in NC/Nga Mice.	International journal of environmental research and public health,13(11),pp.,2016	Original Article
121	Kurai, J; Watanabe, M; Sano, H et al	分子制御内科学	The Effect of Seasonal Variations in Airborne Particulate Matter on Asthma-Related Airway Inflammation in Mice.	International journal of environmental research and public health,13(6),pp.,2016	Original Article
122	Nishii-Ito, S; Izumi, H; Touge, H et al	分子制御内科学	Pulmonary intravascular large B-cell lymphoma successfully treated with rituximab, cyclophosphamide, vincristine, doxorubicin and prednisolone immunochemotherapy:	Molecular and clinical oncology,5(6),pp.689-692,2016	Original Article
123	Takeda, K; Yamasaki, A; Igishi, T et al	分子制御内科学	Frequency of Epidermal Growth Factor Receptor Mutation in Smokers with Lung Cancer Without Pulmonary Emphysema.	Anticancer research,37(2),pp.765-771,2017	Original Article
124	Watanabe, M; Noma, H; Kurai, J et al	分子制御内科学	Association of Short-Term Exposure to Ambient Fine Particulate Matter with Skin Symptoms in Schoolchildren: A Panel Study in a Rural Area of Western Japan.	International journal of environmental research and public health,14(3),pp.,2017	Original Article
125	Watanabe, M; Noma, H; Kurai, J et al	分子制御内科学	A panel study of airborne particulate matter composition versus concentration: Potential for inflammatory response and impaired pulmonary function in children.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology,66(1),pp.5	Others
126	Watanabe, M; Noma, H; Kurai, J et al	分子制御内科学	Effects of Short-Term Exposure to Particulate Air Pollutants on the Inflammatory Response and Respiratory Symptoms: A Panel Study in Schoolchildren from Rural Areas of	International journal of environmental research and public health,13(10),pp.,2016	Original Article
127	Watanabe, M; Noma, H; Kurai, J et al	分子制御内科学	Association between Outdoor Fungal Concentrations during Winter and Pulmonary Function in Children with and without Asthma.	International journal of environmental research and public health,13(5),pp.,2016	Original Article
128	Watanabe, M; Noma, H; Kurai, J et al	分子制御内科学	Effect of Asian dust on pulmonary function in adult asthma patients in western Japan: A panel study.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology,65(2),pp.1	Original Article

小計13件

129	Yamamoto, A; Hashimoto, K; Yamasaki, A et al	分子制御内科 学	Leukocytapheresis for the treatment of acute exacerbation of idiopathic interstitial pneumonias: a pilot study.	The journal of medical investigation : JMI,64(1.2),pp.110- 116,2017	Original Article
130	Yanai, M; Makino, H; Ping, B et al	分子制御内科 学	DNA-PK Inhibition by NU7441 Enhances Chemosensitivity to Topoisomerase Inhibitor in Non-Small Cell Lung Carcinoma Cells by Blocking DNA Damage Repair.	Yonago acta medica,60(1),pp.9- 15,2017	Original Article
131	Oshima, Y; Sakamoto, S; Yamasaki, K et al	麻酔・集中治 療医学	Desflurane inhalation before ischemia increases ischemia-reperfusion- induced vascular leakage in isolated rabbit lungs.	SpringerPlus,5(1),pp.2 031,2016	Original Article

計131件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院 における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	安達 真紀子, 細田 さとみ, 法正 恵子 他	薬剤部	標準化した薬学的管理指導に基づい てサプリメント過剰摂取との因果関係が 疑われる薬物性肝障害の重症化を回 避した1例	New Diet Therapy(0910- 7258)32巻4号 Page3- 12(2017.03)	Original Article
2	安達 真紀子, 高根 浩, 篠塚 和正 他	薬剤部	健康食品利用入院患者に対する薬学 的介入内容の分析と管理アルゴリズム の構築	医療薬学(1346- 342X)42巻4号 Page217- 227(2016.04)	Original Article
3	井上 幸次, 白石 敦, 杉岡 孝二 他	視覚病態学	抗腫瘍薬全身投与による角結膜障害 についての日本角膜学会による実態調 査	日本眼科学会雑誌 (0029-0203)121巻1号 Page23-33(2017.01)	Others
4	永見 晶子, 石井 美枝, 石井 里枝 他	放射線部	CRマンモグラフィのQA・QCガイドラ インによるCNR(SDNR)の比較	日本放射線技術学会 雑誌(0369-4305)72巻 6号 Page503- 513(2016.06)	Original Article
5	宮原 直樹, 橋田 祐一郎, 友森 あや 他	周産期・小児 医学	ヘルメット型マスクによる非侵襲的陽圧 換気を行ったRSウイルス細気管支炎の 9例	小児内科(0385- 6305)48巻12号 Page2001- 2004(2016.12)	Original Article

小計 5件

6	弓岡 徹也, 森實 修一, 眞砂 俊彦 他	器官制御外科 学講座腎泌尿 器学分野	女性の新膀胱造設術を前提としたロ ボット支援逆行性腔温存膀胱全摘除術 の経験	西日本泌尿器科 (0029-0726)78巻12号 Page620- 625(2016.12)	Original Article
7	橋田 祐一郎, 坂田 晋史, 倉信 裕樹 他	周産期・小児 医学分野	当科における川崎病後冠動脈瘤につ いての検討	小児科臨床(0021- 518X)70巻3号 Page341- 348(2017.03)	Original Article
8	橋田 祐一郎, 坂田 晋史, 倉信 裕樹 他	周産期・小児 医学分野	急速に心不全が進行したEmery- Dreifuss型筋ジストロフィー	日本小児科学会雑誌 (0001-6543)120巻6号 Page986- 992(2016.06)	Case report
9	戸川 雅美, 斎藤 義朗, 前垣 義弘 他	脳神経小児科	Lesch-Nyhan症候群患者の自傷行為 に対するS-adenosylmethionineの使用 経験	脳と発達(0029- 0831)49巻1号 Page25-27(2017.01)	Original Article
10	荒木 邦夫, 万木 洋平, 若原 誠 他	胸部外科	未確診肺癌に対する摘出後針生検 標本挫滅による診断不適を防ぐための 工夫	日本呼吸器外科学会 雑誌(0919-0945)31巻 1号 Page127- 131(2017.01)	Case report
11	黒崎 雅道	脳神経医科学 講座脳神経外 科学分野	経鼻的経蝶形骨洞手術の現状と展望 当施設での工夫	米子医学雑誌(0044- 0558)68巻1-2号 Page1-8(2017.03)	Original Article
12	黒崎 雅道, 小椋 貴文, 中島 定男 他	脳神経医科学 講座脳神経外 科学分野	傍鞍部嚢胞性疾患の診断と治療	日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)92巻 Suppl.HPT Page90- 92(2016.07)	Original Article
13	三好 謙一, 孝田 雅彦, 磯本 一 他	機能病態内科 学	肝性胸水を伴った肝硬変症例の横隔 膜交通症に対する横隔膜縫縮術の有 用性	日本門脈圧亢進症学 会雑誌(1344-8447)22 巻4号 Page234- 239(2016.11)	Original Article
14	三好 史倫, 福永 健, 篠原 祐樹 他	放射線科	【脳神経・頭頸部の画像診断update】 エオジン好性核内封入体病の1例	臨床放射線(0009- 9252)61巻12号 Page1699- 1702(2016.11)	Case report
15	三和 健, 門永 太 一, 窪内 康晃 他	胸部外科	放射線化学療法後サルベージ手術を 行った完全内臓逆位併存IV期胸腺癌 の1例	日本臨床外科学会雑 誌(1345-2843)77巻11 号 Page2681- 2685(2016.11)	Case report
16	山家 健作, 遠藤 宏治, 林原 雅子 他	整形外科	軟骨肉腫に対してhemicortical resection後に液体窒素処理骨再建を 行った1例	中国・四国整形外科 学会雑誌(0915- 2695)28巻2号 Page273- 277(2016.09)	Case report
17	山崎 厚志, 富長 岳史, 佐々木 慎一 他	視覚病態学	黄斑上膜手術とトリアムシロンTenon 嚢下注射が中心性漿液性脈絡網膜症 を誘発したサルコイドーシスの1例	眼科臨床紀要(1882- 5176)9巻10号 Page819- 822(2016.10)	Case report
18	山崎 厚志, 春木 智子, 小山 あゆみ 他	視覚病態学	診断に苦慮した成人悪性視神経膠腫 の1例	臨床眼科(0370- 5579)70巻5号 Page787- 791(2016.05)	Case report

小計13件

19	寺岡 千織, 宮永 恵美子, 山下 典子 他	検査部	尿沈渣標本作成後の上清中の赤血球 残存率と赤血球形態	医学検査(0915- 8669)65巻3号 Page350- 353(2016.05)	Original Article
20	小作 大賢, 佐藤 慎也, 島田 宗昭 他	女性診療科	卵巣癌との鑑別が困難であった腹膜原 発悪性中皮腫の一例	現代産婦人科(1882- 482X)64巻2号 Page247- 251(2016.05)	Case report
21	小山 あゆみ, 大松 寛, 井上 幸次, 他	視覚病態学教 室	蘇生後脳症後兎眼に生じた角膜穿孔 に対し保存角膜にて角膜移植を施行し た1例	あたらしい眼科(0910- 1810)34巻1号 Page120- 123(2017.01)	Case report
22	小山 哲史, 藤原 和典, 三宅 成智 他	感覚運動医学 講座耳鼻咽 喉・頭頸部外 科学分野	セツキシマブにより生じた褥瘡様潰瘍2 例	耳鼻咽喉科臨床 (0032-6313)109巻12 号 Page843- 848(2016.12)	Original Article
23	小山 哲史, 藤原 和典, 福原 隆宏 他	感覚運動医学 講座耳鼻咽 喉・頭頸部外 科学分野	頭頸部癌外来化学療法における末梢 挿入型中心静脈カテーテルの使用経 験	頭頸部外科(1349- 581X)26巻1号 Page79-82(2016.06)	Original Article
24	小川 勝弘, 椎木 芳和, 金田 達也 他	薬剤部	医療用医薬品の錠剤の識別コード調 査と一包化調剤された持参薬の鑑別に 及ぼす影響について	医薬品情報学(1345- 1464)18巻2号 Page123- 130(2016.08)	Original Article
25	小谷 美香, 大内 泰文, 矢田 晋作 他	画像診断治療 学分野	責任血管同定に苦慮した肺仮性動脈 瘤の1例	臨床放射線(0009- 9252)62巻2号 Page321- 325(2017.02)	Case report
26	松居 真司, 荒木 邦夫, 松岡 佑樹 他	胸部外科	緩徐に増大するpart-solid noduleを呈 し、早期肺腺癌との鑑別が困難であっ たperibronchiolar metaplasiaの1例	日本呼吸器外科学会 雑誌(0919-0945)30巻 4号 Page488- 491(2016.05)	Case report
27	城所 嘉輝, 中村 廣繁, 谷口 雄司 他	器官制御外科 学講座胸部外 科学分野	全身麻酔下胸腔鏡生検が診断に有用 であったIgG4関連硬化性縦隔炎の1例	日本胸部臨床(0385- 3667)75巻7号 Page780- 785(2016.07)	Case report
28	森山 真亜子, 佐藤 誠也, 柳樂 慶 他	産科婦人科	深部静脈血栓症を契機に発見された 骨盤放線菌症の1例	現代産婦人科(1882- 482X)64巻2号 Page203- 207(2016.05)	Case report
29	森脇 健太, 上村 篤史, 榎田 信平 他	整形外科	Metal on polyethylene人工股関節全置 換術後に偽腫瘍が発生した1例	Hip Joint(0389- 3634)42巻1号 Page593- 597(2016.08)	Case report
30	杉原 誉明, 孝田 雅彦, 岡本 敏明 他	消化器内科	リンパ球刺激試験(DLST)2回目測定 の有用性	肝臓(0451-4203)57巻 11号 Page571- 576(2016.11)	Original Article
31	杉原 誉明, 孝田 雅彦, 岡本 敏明 他	消化器内科	経頸静脈的肝生検(TJLB)の有用性に 関する後ろ向き検討	肝臓(0451-4203)57巻 6号 Page280- 286(2016.06)	Others

小計13件

32	杉原 誉明, 孝田 雅彦, 岡本 敏明 他	消化器内科	下大静脈腫瘍栓(IVC-TT)を伴う進行 肝細胞癌に対する治療法の選択と有 効性 後ろ向き検討	肝臓(0451-4203)57巻 5号 Page205- 212(2016.05)	Others
33	杉原 誉明, 孝田 雅彦, 的野 智光 他	統合内科学講 座機能病態内 科学	後期高齢者のC型慢性肝炎に対するダ クタスビル・アスナプレビル併用療法 の使用経験	日本高齢消化器病学 会誌(1881-0837)18巻 2号 Page53- 57(2016.04)	Original Article
34	西村 元延	器官制御外科 学講座器官再 生外科学分野	脂肪細胞由来細胞シートを用いた心筋 再生療法の開発	上原記念生命科学財 団研究報告集30巻 Page1-7(2016.12)	Original Article
35	川崎 誠, 岡本 秀 治, 都橋 一仁 他	感覚運動医学 講座口腔顎顔 面病態外科学 分野	高齢者の口腔顎顔面外傷の臨床的検 討	口腔顎顔面外傷 (1347-9903)15巻1-2 号 Page18- 21(2016.12)	Original Article
36	川本 文弥, 引田 克弥, 清水 龍太郎 他	器官制御外科 学講座腎泌尿 器学分野	膀胱癌Plasmacytoid variant 3例の検討	西日本泌尿器科 (0029-0726)79巻3号 Page73-77(2017.03)	Original Article
37	多田 陽一郎, 山本 学, 前田 佳彦 他	病態制御外科 学	術後17年目に再発をきたした性腺外胚 細胞腫の1例	日本臨床外科学会雑 誌(1345-2843)77巻4 号 Page849- 852(2016.04)	Case report
38	大山 賢治, 孝田 雅彦, 松木 由佳子 他	がんセンター	高齢者肝癌の年代別変遷	日本高齢消化器病学 会誌(1881-0837)19巻 2号 Page81- 87(2017.03)	Original Article
39	大島 祐貴, 城所 嘉輝, 荒木 邦夫 他	胸部外科	臨床経験 後縦隔Mueller管嚢胞	胸部外科(0021- 5252)70巻2号 Page105- 110(2017.02)	Original Article
40	池淵 雄一郎, 八島 一夫, 河口 剛一郎 他	機能病態内科 学	当院における緊急大腸内視鏡検査を 施行した高齢者下部消化管出血症例 の検討	日本高齢消化器病学 会誌(1881-0837)18巻 2号 Page77- 81(2016.04)	Others
41	田中 智章, 今岡 慎弥, 松浦 一貴 他	視覚病態学	リハビリ後に回復,代償機能を得た半側 空間無視の2例	臨床眼科(0370- 5579)71巻2号 Page241- 246(2017.02)	Case report
42	藤原 義之, 齋藤 博昭, 高野 周一 他	病態制御外科	胃癌における新たな腹膜播種転移診 断法	米子医学雑誌(0044- 0558)68巻1-2号 Page23-27(2017.03)	Original Article
43	馬場 高志, 佐々木 慎一, 富長 岳史 他	視覚病態学	サルコイドーシスに合併した網膜色素 上皮剥離の経過	臨床眼科(0370- 5579)70巻5号 Page773- 778(2016.05)	Case report
44	畑山 祐輝, 松本 智子, 浜田 映子 他	検査部	輸血部門システム更新に伴う各種改良 点の成果と課題について	日本輸血細胞治療学 会誌(1881-3011)62巻 6号 Page684- 688(2016.12)	Original Article

小計13件

45	武中 篤, 弓岡 徹也, 岩本 秀人 他	器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	腹腔鏡下/ロボット支援膀胱全摘除術における尿路変向術の現状と問題点 RARCのメリットとデメリット ECUDの立場から	泌尿器外科(0914-6180)29巻臨増 Page745-747(2016.05)	Others
46	棕田 奈保子, 福永 健, 藤井 進也 他	病態解析医学講座画像診断治療学分野	【腹部の最新画像情報2016】急速増大を示した卵黄嚢腫瘍の1例	臨床放射線(0009-9252)61巻6号 Page835-838(2016.06)	Case report
47	木村 有佑, 弓岡 徹也, 山口 徳也 他	器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	筋層非浸潤性膀胱癌に対する抗癌剤即時単回膀胱内注入療法の検討	日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌(1347-5010)25巻1号 Page36-38(2017.03)	Original Article
48	木村 有佑, 引田 克弥, 弓岡 徹也 他	器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	胸腺癌の孤立性右副腎転移に対し腹腔鏡下右副腎摘除術を施行した1例	西日本泌尿器科(0029-0726)78巻7号 Page350-353(2016.07)	Case report
49	木村 隆誉, 大内 泰文, 矢田 晋作 他	病態解析医学講座画像診断治療学分野	AMPLATZER Vascular Plug 4を用いた動脈塞栓術後に再開通を認めた外傷性腎損傷の1例	臨床放射線(0009-9252)62巻3号 Page483-488(2017.03)	Original Article
50	矢田 晋作, 大内 泰文, 小谷 美香 他	病態解析医学講座画像診断治療学分野	Vascular closure deviceを用いた肝穿刺経路塞栓の試み	日本門脈圧亢進症学会雑誌(1344-8447)22巻2号 Page172-175(2016.06)	Original Article
51	柳樂 慶, 谷口 文紀, 平川 絵莉子 他	産科婦人科	帝王切開癒痕症候群の4例	現代産婦人科(1882-482X)64巻2号 Page235-239(2016.05)	Case report
52	和田 崇, 松本 浩実, 尾崎 まり 他	リハビリテーション部	地域在住高齢者における診断された運動器疾患数と転倒発生の関連についての横断的研究	日本転倒予防学会誌(2188-5702)3巻3号 Page37-45(2017.03)	Original Article
53	眞砂 俊彦, 森實 修一, 引田 克弥 他	器官制御外科学講座腎泌尿器学分野	選択的動脈阻血を試みたロボット支援腎部分切除術の初期経験	Japanese Journal of Endourology(2186-1889)29巻1号 Page119-124(2016.04)	Others

計53件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 目的と適応範囲 1.1. 目的 1.2. 適応範囲 2. 委員会の構成 2.1. 委員 2.2. 委員会事務局 2.3. 教育・研修 2.4. 守秘義務 2.5. 利益相反の管理 3. 審査・報告事項 4. コンサルテーション 5. 審査・報告申請 5.1. 審査・報告資料の提出 5.2. 提出資料 6. 倫理審査 6.1. 一般審査 6.2. 迅速審査 7. 審査結果の通知 8. 審査結果通知後の対応 9. 調査 10. 他の研究機関からの審査依頼 11. 情報公開 12. 記録の保管	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 2 5 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
- 2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 (目的) 鳥取大学医学部附属病院における臨床研究の実施者及びその関係者の利益相反(以下「利益相反」という。)が深刻な事態へと発展することを未然に防止するため、臨床研究に係る利益相反の適切な管理(以下「利益相反マネジメント」という。)に関し必要な事項を定め、もって臨床研究の適正な推進を図ることを目的とする。 (利益相反マネジメントの対象及び基準) 利益相反マネジメントの対象者は、次に掲げる者 一 臨床研究実施者等 二 臨床研究実施者等の配偶者及び臨床研究実施者等と生計を一にする当該臨床研究実施者等の扶養親族 三 その他審査委員会が必要と判断した者 開示対象とする事項 一 経済的利益 二 経営関与 利益相反マネジメントは、臨床研究を実施するに当たり、被験者及び社会に対し、教育者・研究者又は医療関係者としての公正性に客観的な疑念を生じさせるか否かを判断基準として行うものとする。 (臨床研究実施者等の責務) 利益相反の発生が懸念される場合は、この規程に定めるところにより所定の手続きを経るほか、透明性、公正性の確保に自ら努める。 (臨床研究利益相反審査委員会の業務等) 一 利益相反の防止に関すること。 二 利益相反に係る調査及び審査に関すること。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年13回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 6 回
・研修の主な内容 1. 事例から学ぶ臨床研究の計画・運用 2. 臨床研究のデザインとチームによるサポート 3. 臨床研究の計画・解析・報告における生物統計の基礎～CONSORT声明、STROBE声明をもとに～ 4. クリニカルクエストから研究計画書の作成へ～コンサルテーションの実際を踏まえて～ 5. 医薬品分野の研究開発を活性化するための知的財産の活用法と留意点 臨床研究のデータ管理	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

・羊水過少例、前期破水例に対する羊水注入療法・臍帯穿刺による胎児検査、胎児治療・子宮内膜症合併不妊に対する腹腔鏡下手術・体腔鏡下腎摘術・ボツリヌス毒素の膀胱内注入・非小細胞肺癌に対するWeekly Paclitaxel の有用性に関する検討・複雑系理論を応用した睡眠時無呼吸障害患者の診断・遺伝子産物抗体測定による肺癌診断・ras rho p53 遺伝子PCRによる癌性胸膜炎診断・音声再建・睡眠時無呼吸治療・急速減感作療法・再建外科を含む頭頸部腫瘍の治療・小児の難治性疾患に対する診断と治療に関する手技を研修・IVH・上部消化管内視鏡・上部消化管造影・頸髄症の病態と手術適応・変形性関節症の病態と人工関節手術の適応・膝内障の病態と関節鏡視下手術・脊髄誘発電位検査・小児難治性疾患に対する診断・上室ならびに心室性頻拍症に対する高周波カテーテル焼却術・脳血管内手術・エキシマレーザーによる治療的レーザー角膜切除術(PTK)・マイクロケラトームを用いた角膜移植術・real-time PCRを用いたヘルペス性眼疾患診断・肺動脈カテーテル挿入術・経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術・近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)を用いたうつ状態の鑑別・統合失調症に対する認知リハビリテーション・心臓再同期療法・心臓リハビリテーション・臨床心臓電気生理学的検査・難治性円形脱毛症に対するステロイドパルス療法・天疱瘡に対するIVIIG療法・ステンドグラフトワークショップ・がんのリハビリテーション・熱傷手術・ロボット支援膀胱全摘術

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	89人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 一博	循環器内科／ 内分泌代謝内科	主任診療科長	31年	
磯本 一	消化器内科／ 腎臓内科	主任診療科長	27年	
清水 英治	呼吸器内科／ 膠原病内科	主任診療科長	39年	
兼子 幸一	精神科	診療科長	32年	
神崎 晋	小児科	診療科長	38年	
藤原 義之	消化器外科／ 小児外科	診療科長	30年	
西村 元延	心臓血管外科	診療科長	34年	
中村 廣繁	胸部外科／ 乳腺内分泌外科	主任診療科長	33年	
永島 英樹	整形外科／ リウマチ科	診療科長	29年	
山元 修	皮膚科	診療科長	35年	

武 中 篤	泌尿器科	診療科長	31年	
井 上 幸 次	眼科	診療科長	36年	
竹 内 裕 美	耳鼻咽喉科／ 頭頸部外科	主任診療科長	36年	
小 川 敏 英	放射線科／ 放射線治療科	主任診療科長	38年	
原 田 省	産婦人科	主任診療科長	34年	
稲 垣 喜 三	麻酔科	主任診療科長	36年	
小 谷 勇	歯科口腔外科	診療科長	23年	
長谷川 純 一	薬物療法内科	診療科長	38年	
八 木 俊路朗	形成外科	診療科長	16年	
本 間 正 人	救急科	診療科長	29年	
日 野 理 彦	血液内科	診療科長	45年	
花 島 律 子	神経内科	診療科長	27年	
黒 崎 雅 道	脳神経外科	診療科長	27年	
前 垣 義 弘	脳神経小児科／ 遺伝子診療科	診療科長	29年	
梅 北 善 久	病理診断科／ 神経病理診断科	主任診療科長	30年	
千 酌 浩 樹	感染症内科	診療科長	29年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

1. ホスピタリティ研修

- ・研修の主な内容 医療従事者等として必要なホスピタリティとは何かを学ぶとともに演習を実施
- ・研修の期間・実施回数 平成28年4月7日・1回
- ・研修の参加人数 95名

2. 接遇研修

- ・研修の主な内容 「患者サービスの価値」や「サービスマインドのビジュアル化」等について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成29年2月13日・1回
- ・研修の参加人数 137名

3. マルトリートメントに関する研修

- ・研修の主な内容 マルトリートメント（虐待）とは何か、また、その社会制度や事例について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成29年2月27日・1回
- ・研修の参加人数 168名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

1. メンタルヘルスマネジメント研修

- ・研修の主な内容 管理職員を対象に、安全配慮義務とメンタルヘルス不全による休職者、復職者への対応、特に予兆段階、復職時の対応、職務復帰後のフォローまでのポイントや法的な留意点を学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成28年5月31日・1回
- ・研修の参加人数 14名

2. 労務管理に関する研修

- ・研修の主な内容 長時間労働による健康障害の防止（安全配慮義務）、勤務時間管理、ワークライフバランス等について意識啓発を行う
- ・研修の期間・実施回数 平成28年9月29日・1回
- ・研修の参加人数 23名

3. 事務系新規採用職員情報セキュリティ研修

- ・研修の主な内容 個人情報の取扱い、情報セキュリティ対策について理解を深める
- ・研修の期間・実施回数 平成28年5～11月・2回
- ・研修の参加人数 35名

4. 事務系情報セキュリティ研修(e-learning)

- ・研修の主な内容 情報セキュリティ対策の意識調査により対策を確認する。
- ・研修の期間・実施回数 平成28年9月・1回
- ・研修の参加人数 204名

5. 個人情報保護研修

- ・研修の主な内容 個人情報の不祥事事例を挙げ、個人情報の取り扱いを再確認する
- ・研修の期間・実施回数 平成28年12月・1回
- ・研修の参加人数 21名

6. ITセキュリティ研修」

- ・研修の主な内容 不審メールによるウイルス感染からの情報漏えいについて、注意喚起し、意識の向上を図る。
- ・研修の期間・実施回数 平成28年12月・1回
- ・研修の参加人数 223名

7. 情報セキュリティ研修」

- ・研修の主な内容 情報セキュリティポリシーの理解を深める。
- ・研修の期間・実施回数 平成29年2月・1回
- ・研修の参加人数 35名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 原田 省
管理担当者氏名	総務課長 藤元 高德、医療サービス課長 西村 繁紀

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	医療情報部
		手術記録	医療情報部
		看護記録	医療情報部
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	医療情報部
		紹介状	医療情報部
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
			外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理。 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存 電子化されているものは電子カルテ管理 エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管）。 病院日誌は、紙ベースにて日付順に保管。 なお、診療録を病院外に持ち出すことは禁止している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医療サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課 医学図書館
		高度の医療の研修の実績	専門医制度準備室
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 MEセンター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 MEセンター		

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療サービス課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医療サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： (1) 安全管理に関する基本的考え方 (2) 安全管理のための組織に関する基本的事項 (3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針 (4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (6) 本院における医療従事者と患者及び家族等との間の情報の共有に関する基本方針 (7) 患者及び家族等からの相談への対応に関する基本方針 (8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年 13 回 ・ 活動の主な内容： 医療に係る安全管理体制の確保及び推進を図り、医療事故等及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。 (審議事項) ・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること ・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること ・ 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること ・ 医療事故等及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること ・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故等の再発防止に関し病院長から命を受けたこと ・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 9 回
・ 研修の主な内容： (研修内容) ・ 職員全体研修会 (2 回) ・ 医療安全取り組み報告研修会 (9 回) ・ DVD 集合研修会 (8 回) ・ DVD・Eラーニング研修会 (5 回) ・ 委託業務従事者研修会 (2 回) ・ 病院情報システム操作研修会 (22 回) ・ リスクマネジメント研修会 (16 回) ・ 新採用・中途採用オリエンテーション・研修会 (4 回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☒ 有 ・ ☐ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (報告の分析) 1. 医療安全管理責任者の指示のもと、医療安全管理者が、インシデント報告書を基に①内容 ②原因と要因 ③改善策 ④患者影響レベル ⑤患者及び家族への対応と反応等について現場で確認を行っている。 2. 1 を基に問題点を抽出し、現場や院内全体での改善策を講じている。 (検討方法) 1. 医療安全管理責任者を中心に、医療安全管理者、リスクマネジメント専門委員会委員が、インシデント報告についてカンファレンスを実施し、再発防止対策を検討する。 2. 医療安全管理者は毎月の事例を分析し報告書を作成、リスクマネジメント専門委員会・医療事故防止等対策委員会・病院運営会議・統括医長連絡会リスクマネジメント担当者連絡会・看護師長会議等で報告し検討している。 3. 事例によっては、クオリティ審査専門委員会・拡大クオリティ審査専門委員会等で審査を行う。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 感染管理組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する「鳥取大学医学部附属病院における院内感染対策のための指針」の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針 8. 職業感染防止のための基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 1. 感染予防の対策に関すること 2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること 3. 感染予防に係る情報の収集に関すること 4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること 5. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： ・ 今、気をつけるべき耐性菌と、周術期感染対策の新たな潮流（1 回） ・ 個人防護具つけっぱなし問題！（動画研修：e ラーニング&DVD）（1 回）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・MRSA 感染症治療薬および広域抗菌薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討 ・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導 ・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応 ・ 感染制御部メンバーによる定期ミーティング	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8 1 回
・ 研修の主な内容： ・ 医療安全取り組み報告研修会「院内共通術前中止薬リスト作成とその運用について／麻薬事故事例から見た麻薬取扱い上の留意点について」（1 回） ・ インスリン療法研修会（4 回） ・ 静脈注射院内認定看護師育成研修（1 回） ・ e ラーニング「術前中止薬リスト」（1 回） ・ 医療安全出前研修「院内共通術前中止薬リストについて」（2 5 回） ・ 医療安全出前研修「アレルギーを引き起こす薬剤の確認機能の強化とアレルギー歴登録・解除の運用変更について」（2 3 回） ・ 新採用者研修病院情報システム・リスクマネジメント「処方オーダー時の留意点について」（8 回） ・ 薬剤師による病棟等への出張研修（1 3 回） ・ 鳥取大学医学部附属病院新採用職員オリエンテーション「薬剤部について」（1 回） ・ 研修医プレローテーション（2 回） ・ 新人看護師研修「毒薬・劇薬・向精神薬・麻薬の取り扱いについて」（1 回） ・ 薬剤疑義照会に関する研修医講習会（1 回）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： ・ 医薬品の採用・購入に関する事項 ・ 医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等） ・ 患者の持参薬歴情報等の収集方法，処方せんの記載方法 ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項 ・ 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

(情報収集の方法 ※未承認等の医薬品の情報その他の情報の収集)

- ・ 医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報集
- ・ 病院で発生する副作用・感染症情報の把握
- ・ 厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供(口頭、インターネット、書面等)

(情報の周知方法)

緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る

- ・ 新採用者または全職員を対象に開催する研修会
- ・ 書面や医療情報システム掲示板・院内メールを利用した情報提供
- ・ 医師等の個人に直接情報提供
- ・ 病棟担当薬剤師による医師薬剤師への説明会

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 1 9 回
・ 研修の主な内容： ・ 輸血ポンプ・シリンジポンプ（2 回） ・ P I C C 研修会（1 回） ・ 人工呼吸器研修会（1 回） ・ N P P V 研修会（1 回） ・ P I C C 研修会（2 回） ・ チェスト・ドレーン・バック研修会（2 回） ・ J－V A C の安全な管理研修会（2 回） ・ 気管切開研修会（1 回） ・ B L S 研修会（2 回） ・ 保育器・人工心肺装置・除細動器・血液浄化装置・その他（1 0 5 回）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： ・ M E センターで直接管理している医療機器については、点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用後点検に区別して点検記録簿を作成し管理保管している。 ・ 現場管理が主体となる放射線装置については、部署の担当責任者が管理し、M E センターはそれらの医療機器の定期点検表、修理点検表等の写しを提出してもらい、一括管理保管する。 ・ 保守・修理・点検にあたっては、計画の作成に参画し、業者との窓口としての業務を行っている。院内で定期点検する場合は、メーカーの技術講習会を受けた M E が実施、点検項目や頻度はメーカー推奨を参考に作成している。 ・ 精度、機能、安全機構、ソフトのバージョン等メーカー技術講習に準じて実施。オーバーホールも含む。	

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備
 - ・ その他の改善のための方策の主な内容：
- ((有) ・ 無)

(情報収集の方法)

- ・ 医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はMEセンターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求めている。

(情報の周知方法)

- ・ 医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内に周知する。
- ・ 医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し、院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。さらに、研修会実施時に情報提供を行い周知を図っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無																								
・ 責任者の資格 ☒ (医師)・歯科医師 ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 副病院長（医療安全）を配置している。 （職務内容） 医療安全管理部、医療事故防止等対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者、インフォームド・コンセント説明等責任者の統括をしている																									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（1 名）・無																								
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医療安全管理部や医療安全に係る委員会等と連携の下、次の業務を行う。 1. 医薬品の安全のための業務に関する手順書の作成並びに改定 2. 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 3. 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 4. 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認医薬品の使用状況は医薬品情報管理室にて一元管理を行い、定期的に（月一回程度）その結果を報告させ、必要な介入の指示を行い、実施させる。 ・ 担当者の指名の有無 ☒ (有)・無 ・ 担当者の所属・職種： <table><tr><td>（所属：薬剤部</td><td>， 職種 薬剤師</td><td>）</td><td>（所属：</td><td>， 職種</td><td>）</td></tr><tr><td>（所属：</td><td>， 職種</td><td>）</td><td>（所属：</td><td>， 職種</td><td>）</td></tr><tr><td>（所属：</td><td>， 職種</td><td>）</td><td>（所属：</td><td>， 職種</td><td>）</td></tr><tr><td>（所属：</td><td>， 職種</td><td>）</td><td>（所属：</td><td>， 職種</td><td>）</td></tr></table>		（所属：薬剤部	， 職種 薬剤師	）	（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）
（所属：薬剤部	， 職種 薬剤師	）	（所属：	， 職種	）																				
（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）																				
（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）																				
（所属：	， 職種	）	（所属：	， 職種	）																				

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認及び指導の主な内容 ・説明等の実施に必要な方法に関して、インフォームド・コンセントマニュアル等に定められた事項の遵守状況を定期的に確認している。 ・説明方法、内容、文書管理等についての検討事項は、適宜インフォームド・コンセント専門委員会でルール化している。 ・不適切な事例が認められる場合は、当該部署へ指導を行うとともに、必要に応じて院内文書（インフォームド・コンセント便り等）により病院全体へ周知している。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録管理委員会内に診療録監査専門部会を設置し、診療録等の記載内容、退院サマリーの作成状況、カウンターサインの実施状況等を毎月確認している。内容の記載不備、未作成又は未実施などの不備がある場合は、担当医師に直接指導を行っている。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
・所属職員：専従（２）名、専任（２）名、兼任（１１）名 うち医師：専従（ ）名、専任（１）名、兼任（６）名 うち薬剤師：専従（ ）名、専任（１）名、兼任（２）名 うち看護師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 ※事務 専任（１）名、兼任（１）名 医師については平成２８年４月１日より専任１名配置している。平成３０年４月からは専任２名又は専従１名体制とする予定。 （注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： ・医療安全に関わる委員会の運営並びにその記録、資料等の作成及び保存に関すること ・医療安全に係る教育・研修の企画・立案・運営・学習効果測定の実施に関すること ・医療事故及びこれに準じて取り扱うことが必要な事象（以下「医療事故等」という。）が発生した場合における診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関すること	

- ・ 医療事故等が発生した場合における患者又はその家族への説明などの対応状況についての確認及び指導に関する事
- ・ 医療事故等の発生原因の究明等対応状況が適切に実施されている事の確認及び当該確認結果に基づく医療従事者への必要な指導に関する事
- ・ 医療安全に資する診療内容及び医療従事者の医療安全の認識についてのモニタリングに関する事（診療録管理委員会にて監査を実施。その他、病院機能指標（Q I）を利用したモニタリングを行っている。また、肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）予防マニュアルワーキングを立ち上げ検討している）
- ・ 死亡例及び合併症の報告等に関する事
- ・ 医療安全に係る内部通報に関する事
- ・ 医薬品及び医療機器の安全管理に係る助言指導に関する事
- ・ インフォームド・コンセント及び診療録の管理の適切な実施に係る助言指導に関する事
- ・ 医療安全に係る外部監査に関する事
- ・ 特定機能病院間相互のピアレビューの実施に関する事
- ・ 医療安全管理に係る連絡調整に関する事
- ・ 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関する事
- ・ 未承認新規医薬品・医療機器の使用に関する事
- ・ その他本院における医療安全の確保のための対策の推進に関する事

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしている事について説明する事。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載する事。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 高難度新規医療技術等に該当するか否かの判断に関する事
 - ・ 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供申請の適否等の決定及び結果通知に関する事
 - ・ 関係する委員会等との調整に関する事
 - ・ 提供を認めた高難度新規医療技術等の周知及び関係者への指導に関する事
 - ・ 病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関する事
 - ・ 患者申出療養の実施の可否に関する事

・ その他必要と認められる業務

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 活動の主な内容：

・ 未承認新規医薬品・医療機器に該当するか否かの判断に関すること

・ 未承認新規医薬品・医療機器の使用申請の適否等の決定及び結果通知に関すること

・ 関係する委員会等との調整に関すること

・ 使用を認めた未承認新規医薬品・医療機器の周知及び関係者の指導に関すること

・ 病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関すること

・ 患者申出療養の実施の可否に関すること

・ その他必要と認められる業務

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

⑨ 監査委員会の設置状況

(☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 監査委員会の開催状況：年2回（第1回目は平成29年9月6日開催済み）

・ 活動の主な内容：

・ 病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査

・ 病院の医療安全に係る管理状況及び改善状況に関する審議

・ 監査及び審議結果の学長及び病院長への報告

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 委員名簿の公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 委員の選定理由の公表の有無 (☒ 有 ・ ☐ 無)

・ 公表の方法：病院のホームページ等で公表

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中岡 明久	独立行政法人 労働者健康安全機構 山陰労災病院 副院長・医療安全管理部長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者として適任であるため	有・無	1
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護士		法律に関する識見を有する者として適任であるため	有・無	1
前田 純子	NPO法人 響き合いネットワーク 岡山SP研究会代表		医療を受ける者で、かつ医療従事者以外であり、医療安全管理についての知識を有する者として適任であるため	有・無	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 584 件（平成 28 年度実績）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 82 件（平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月実績）
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
医療安全管理部が、入院患者の死亡事例を確認し、その中で異状死、問題のある症例、診療科から報告のあった死亡事例については、さらに詳しく検証を行っている。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：佐賀大学医学部附属病院）・無） ※予定
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：九州大学病院）・無） ※予定
- ・技術的助言の実施状況
立入りは、平成 29 年 11 月 7 日、立入り受入れは日程調整中。

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

（設置状況等）

平成 15 年 4 月 1 日に、本院に医療相談室を設置し、現在、医療相談室長（医師）1 名、医療サービス課の事務職員 13 名の相談員が医療安全管理部（医療安全管理者）と協力として、平日 8：30 から 17：00（土日祝日除く）の間、患者等からの相談等に応じている。

（活動状況等）

医療相談室の相談員が、患者等からの安全管理を含めた医療に関する相談や苦情などに適切に対応している。

対応にあたっては、患者等の秘密の厳守及び患者が不利益を受けないよう適切な措置を講じながら適切かつ迅速に問題を解決するよう努めている。

また、必要に応じて、医師、看護師等と協力して対応にあたり、途中経過及び結果を病院長に報告している

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（☒有 ☐無）
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（☒有 ☐無）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（☒有 ☐無）

⑭ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

職員の医療の安全に関する意識、職員間の相互に連携して業務を行なうことについての認識、業務を安全に行なうための技能向上等を目的とした研修は、医療安全研修会、医療機器研修会等で実施している。

これまで特定機能病院の承認要件の見直しに伴った研修を実施してきたが、今度、外部監査委員会では取り上げられた事項や高難度医療に関する事項を積極的に取り上げて研修を行う予定としている。

現在は、研修後、アンケートにより理解度の測定を実施しているが、今後、より研修の効果を確認できる方法を検討することとしている。

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

医療安全管理者を「医療安全・医療の質トップマネジメント研修（平成28年7月16日）」、「医療事故の調査などに関するシンポジウム（平成29年7月1日）」に、医薬品安全管理責任者を毎年「日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会」に、医療機器安全管理責任者を毎年「日本ペインクリニック学会 専門医指導者研修会（倫理、医療安全、感染）」に参加させるなどの措置を講じている。

国立大学附属病院長会議等の動向を確認しつつ病院長を含めた管理職員の参加を今後予定している。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 評価を行った機関名 : 公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価を受けた時期 : 2015年1月5日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院の最新情報及び地域からニーズのある情報、また旬な情報を発信している。 ・ホームページ 随時更新 ・広報誌 医療情報誌「ささら」 2回発行 とりだい病院ニュース 4回発行 ・外来担当医の「ご紹介」 1回発行 ・新聞 特集 3回掲載 ・ケーブルテレビ 毎月放送 ・院内セミナー 健康ミニ講座 23回開催 ・院外セミナー 4回開催	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無

有・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

本院では、低侵襲外科センターにおいて、外科系各診療科の壁を越えて疾患に対応することはもとより、低侵襲手術の技術向上と教育を行っている、

また、脳とこころの医療センターにおいて、複数科にまたがる、あるいは複数科でみるべき疾患に対応しているほか、

・褥瘡対策チーム、・緩和ケアチーム、・糖尿病医療支援チーム、・栄養サポートチーム、

・感染対策チーム、・転倒・転落予防チーム、・生殖医療チーム、・呼吸サポートチーム

など、複数診療科が連携し組織横断的に対応を行う体制を整備している。